

【 診療科:消化器外科 】
 【 レジメン登録番号:SG-123 】

〈 FP+Nivolumab療法(q4w:480mg) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	28			
オブジーボ	480mg/body	div	○														
シスプラチン	80mg/m ²	div	○														
フルオロウラシル	800mg/m ²	div	○	○	○	○	○										

【1コース期間: 28日】 【総コース数: なし】

【適応癌種: 食道癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	フィジオ140 500mL	div(3時間で)
Rp.2	フィジオ140 500mL	div(3時間で)
Rp.3	オブジーボ 480mg/body	div(30分で)
	生理食塩水 52mL ^{※1}	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.5	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.6	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.7	シスプラチン 80mg/m ²	div(3時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※2}	
Rp.8-①	リナセートF 500mL	div(3時間で)
Rp.8-②	フルオロウラシル 800mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.9	リナセートF 500mL	div(3時間で)

<day2~5>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	フルオロウラシル 800mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	

【参考文献: N Engl J Med 2022;386:449-62】

【備考: ※1 投与時の総液量は体重30kg 以上の患者には150mL 以下、体重30kg 未満の患者には100mL 以下とする。】

【備考: ※2 生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする】

【備考: オブジーボはインラインフィルター(0.2又は0.22 μm)を用いて投与すること。】